# 登別中だより

１年生柔道授業（コロナ対策で受け身を中心でやっています）

【教育目標】すすんで学び 正しく判断する（知） 思いやりを持ち きびしさに耐える（徳） 命を大切にし 心身を鍛える（体） 令和４年２月２４日発行 No.11

## 「失敗から学び、成長へ。」

登別市立登別中学校長　寺岡　弘

コロナウイルス感染が胆振管内に急激に広がり、胆振の小中学校でも次々と陽性者が出るなど感染が身近なものとなっています。学校では、極力罹患や感染を防ぐために、教職員・生徒は手指の消毒、換気、三密を防ぐことはもちろん、日課を調整して他学年とトイレの時間が重ならないように学年で時間をずらすなど、色々な工夫をしています。今後も注意喚起をしていかなくては…、と思っているところです。

さて、２月末となり、いよいよ学校では来年度に向けた話し合いを進めています。来年度を見据えた話し合いの中で「失敗から学ばせること」が話題としてあがりました。子どもたちに手をかけ過ぎていないかという反省です。教科の授業や道徳、総合的な学習の時間など様々な場面で、「間違ってもいいんだ」という雰囲気を作ることで、より子どもたちが挑戦する場面を作り、さらに失敗したとしても子どもたちに成長する場面が生まれると考えます。失敗からの学びが多いことは誰もがわかっていることかなと思います。しかし、失敗してしまうと何かと怒られたりすることが多く、「失敗は悪」と刷り込まれているかもしれません。ですから、最初から「失敗することを避ける」ことを優先し、極論失敗しないために「やらない（挑戦しない）」選択になっているかもしれません。

１２月の学校だよりで、脳科学者の池谷裕二氏の話を書きましたが、その池谷氏の著書「モヤモヤ相談クリニック」という小学生の質問に答える本に興味深いものがありました。小学校３年生の「本当は解ける問題を間違えると勝手に心が暴走してしまいます。どうしたらいいですか。」という質問に、池谷氏は「問題を間違えることを必要以上に悪いことと思っているのではないでしょうか。」と切り込んでいました。そして、ネズミの実験が紹介されていました。

＜ネズミの実験＞ゴール（えさ）にたどり着くルートが７通りある迷路を作り、ネズミが最も短いルートを見つけるのに何日かかるかを調べた。途中に行き止まりを作るなどゴールまでの道を複雑にし、複数のネズミで実験を重ねた。

実験結果は、３～１８日と差はあるものの、すべてのネズミが最短のルートを見つけることができたそうです。このときに最短のルートを見つけるのが早かったのは、行き止まりにぶつかった回数が多いネズミだったそうです。「初期に」いろいろな間違いをしたネズミの方がいい結果に結び付きました。失敗した方がいい結果を得られたのはなぜなのか。池谷氏は「立ち止まって失敗を振り返り、反省することによって行動を修正したことが、脳を成長させたのではないか。」と言っています。「間違いを振り返り、修正することで脳が成長する（のでは）」ということです。授業での間違い、最高ですね。もちろん失敗した（間違った）ままでは意味がありませんが、振り返り、修正することで成長につながっていくのです。（授業中にテストのやり直しを強調するのはこのためです！）間違えること（失敗）は悪いことではないのです。

話は変わりますが、２０日まで北京冬季オリンピックが行われていましたが、多くの日本人選手から感動をもらいました。その中でも、スピードスケートの女子団体追い抜きの競技ですが、あと１００ｍというところで転倒してしまい金メダルを逃してしまいました。転倒の瞬間、ＴＶを見ながら「え～」と叫んでしまいました。選手たちはもっと悔しい気持ちで一杯だったと思いますが、その中でも「まだできることがあったのでは…」とインタビューでこの先を見て答えていたことに衝撃を受けました。さらに、カーリングでも毎日熱戦を見せていましたが、惜しいところで敗戦した後に「今回の反省を生かして次に頑張りたい」という前向きなコメントがありました。どの競技でもメダリストになる人は、「転んでもただでは起きない、敗戦をプラスにできる」人たちなんだと改めて思いました。

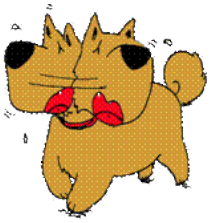
昔から「失敗は成功の母」と言います。「失敗してもいいんだ」「失敗が次へのステップになる」と意識の転換を図り、次にチャレンジしていくように生徒に仕掛けていきたいと思います。登別中学校は全教師が生徒全員に関わることができます。生徒に挑戦する場面を与え、見守り、生徒の成長につながる取組にしていけたらと思います。

## 中学３年生、いよいよ最後の試練の高校入試へ

中学３年生にとって中学校生活もあと残りわずかとなってきました。そして、３月３日の公立高校入試が、目標とする進路を実現するための最後の試練となります。本番まで、学習面の追い込みはもちろん、体調を整え、感染のリスクを減らしていくことが重要です。家庭で風邪症状などの体調のすぐれない家族がいれば、同じ部屋で食事をとらないようにしたり、会話の際もマスクをしたりなど自己防衛も考えてほしいと思います。何にしても万全の状態で臨むことができるように祈っています。受験生の保護者の皆様にとりましては、お子様以上に入試が終わるまでキリキリと胃の痛い毎日を送っていることと思います。更に、お子様の健康管理やストレスの軽減など、学校のできないところで大変ご苦労されているのではと思います。受験生にとりましては、本当につらい毎日ではありますが、誰もが通る道であり、９年間の集大成としてきっと保護者の皆さまの期待に応えて頑張ってくれるものと信じているところです。最後まで応援をお願いします。

## うれしい話　～迷子の犬を飼い主に届ける！～

先月のお話です。登別本町に住むある方が校長に話があると学校に来ました。話の内容は、「昨日、家から逃げてしまった犬を登別中学校の男子生徒２名が家にわざわざ届けてくれた。しかも、どの家の犬かわからないのに１時間ぐらい家を訪ねながら探してくれた。」と感激しながら話してくれました。「昨日はそのまま名前も聞かず返してしまったので、お礼も言いたいので家に来てほしい。」とのことでした。本人たちに話を聞くと、部活の帰りに犬が迷って？いたので、犬を飼い主に戻してあげようと家を探していたそうです。犬を連れて「犬を探していませんか？」と声を出しながら歩いたそうです。本当に登別中の生徒は優しいなあ、と話を聞きながら誇らしげに思うとともに、とても温かい気持ちになりました。保護者の皆さんにも聞いてもらいたい大変うれしいニュースでした。



＜お知らせ＞

〇来年度の諸費の納入月は小学校に合わせて「６月・７月・１０月・１１月」の計４回に変更になります。（今年度は６・８・１０・１２の隔月）来年度も給食費以外の教材費、PTA 会費、生徒会費を上記のように４回で納入するようになります。４月に改めて連絡いたします。

〇SSS（スクールサポートスタッフ）として山本桃花さんが１月末から本校に勤務しています。学校の消毒等お手伝いしてくれています。よろしくお願いします。

北海道教育委員会より「おなやみポスト」のお知らせ（３／１４まで試験運用）

「おなやみポスト」のチラシが北海道教育委員会より先週配布されました。「ポストを使って直接言いにくい悩みや学校に行けないけど先生に伝えたいことなど学校まで届けませんか」という趣旨です。WEB につながる PC やスマホがあれば利用できます。「おなやみポスト」に入力した内容は教育委員会や学校に伝わるようになっています。（右の QR コードから入れます）

＜その他関係機関への相談＞

〇　市教育委員会相談電話（85 - 0085　平日朝９時から夕方５時）

〇　子ども相談支援センター電話相談（0120 - 3882 - 56　毎日 24 時間対応）

〇　メール相談（　tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp　）※返答に５日ほど

## ３月行事予定

３日（木）公立高校学力検査　お弁当日
４日（金）公立高校面接　お弁当日
７日（月）３年生奉仕活動
８日（火）３年生分散会
９日（水）３年生を送る会　あいさつ一声
　　PTA 役員会　１８：００～
１０日（木）卒業式総練習
１１日（金）第７５回卒業証書授与式
１４日（月）卒業式後片付け　職員会議
１６日（水）公立高校合格発表
１８日（金）お茶の間会議（１・２年）
２１日（月）春分の日
２３日（水）１・２年大掃除
２４日（木）修了式　離任式